産品 ニンジン

朝霞市におけるニンジンの栽培は、大正時代の後期に長ニンジンの栽培から始まり、昭和初期には、短根ニンジンの「膝折４寸」という全国的に有名な品種も作られました。その後、短根ニンジンの栽培が昭和 30 年代に普及し、現在では指定産地に指定され、作付面積は約 57ha、出荷量は 1,900 トン（平成 24 年）で県内でも有数の出荷量を誇っています。

短根ニンジン

市内には、地元で栽培されたニンジンを素材とした菓子や食品、料理が多く存在し、地元産の野菜として多くの市民に親しまれています。

短根ニンジン共進会

北朝霞駅北口駅前広場の ニンジンモニュメントのイルミネーション

【見どころ】
　東武東上線朝霞台駅・北朝霞駅周辺には、ニンジンをかたどったモニュメントが存在するほか、周囲の建物がニンジンをモチーフに建てられています。